

SM City Zamboanga

SM City Zamboanga、記録的規模の LED デジタルサイネージで
フィリピン南部最大の島を照らす

要約

国: ミンダナオ, フィリピン

業種: 小売業

実装製品:

- SMP-2200 × 3
- ロバスティソリューション

SM City Zamboanga は 2026 年 3 月 20 日、フィリピンにおける SM Supermalls 第 90 号店として開業し、三宝顔市にこれまで最大規模の商業目的地をもたらしました。グランドオープンの体験の中心には、Mediacast Digital Group が構築・展開したランドマーク級デジタルサイネージネットワークがあり、ミンダナオにおける大規模 LED 設置の新たな基準となりました。CAYIN Technology の SMP-2200 メディアプレーヤーを中核に、敷地内のすべての LED を単一の集中管理ネットワークへ接続。SM Supermalls のマーケティングチームはマニラのオフィスから、モールのビジュアルアイデンティティを総合的にコントロールできます。



SM City Zamboanga の曲面屋外 LED ウォールが建物の外観ファサードを支え、三宝顔市周辺の街並みまでモールの視覚的プレゼンスを広げます。

Mediacast Digital Group は、CAYIN SMP-2200 を 3 台用いて SM City Zamboanga の外観ファサード、ショップフロア、展望エレベーターを横断するランドマーク級マルチディスプレイネットワークを統合。マニラからミンダナオまで、シームレスなリモートコンテンツ運用を実現しました。

すべての画面が同じストーリーを語る

SM City Zamboanga は単なるショッピング目的地ではなく、最初から「体験」として設計されました。あらゆる面、通路、フロア間の移動は、来館者を惹きつけ、地域を代表する小売ランドマークとしてのアイデンティティを強化する機会として計画されています。デジタルサイネージは後付けではなく、建築そのものに織り込まれています。設置は 3 つの表示環境にまたがり、建物に近づく瞬間からエレベーターを降りて売場へ踏み出すまで、顧客ジャーニー全体をカバーします。大規模な曲面の屋外 LED ウォールが外観ファサードを支配し、周辺の街並みから視線を集め、三宝顔市内における SM City Zamboanga の視覚的プレゼンスを確立します。館内では主要通路に配置された 5 面の屋内 LED ウォールが、動線に沿ってブランドおよびプロモーションコンテンツへ没入させます。展望エレベーターは全高 LED カーテンで包まれ、単なる移動をビジュアルハイライトへと変えます。自然をモチーフにした没入型アニメーションがディスプレイ面に天井まで流れ落ちます。

1つのネットワーク。7面のディスプレイ。 完全なコントロール。

このシームレスな視覚体験の背後には、スマートかつ強力なインフラがあります。敷地全体で7面のLEDを接続・駆動するCAYIN SMP-2200メディアプレーヤーが3台。画面ごとにバラバラのシステムではなく、SMP-2200がすべての表示環境を単一の統合コンテンツ管理プラットフォームの下にまとめます。その結果、すべての画面が調和して動き、すべてのキャンペーンが瞬時に配信され、すべての更新がきわめて適切なタイミングで適切なディスプレイに届くネットワークが実現します。

この統合アプローチによりコンテンツのサイロと運用上のボトルネックが解消されます。テナント向けの新広告を屋内ウォールへ、週末キャンペーン向けに屋外ファサードを更新する場合も、祝祭シーズンに合わせてエレベーターコンテンツを差し替える場合も、マーケティングチームは現地に人を置かず、単一のインターフェースからすべてを管理できます。

マニラからフィリピン南部最大の島へ、 リアルタイムで

SM Supermallsにとって、三宝顔市の新規モールをマニラの本社から運営する地理的現実、明確なオペレーション上の課題でした。変化の速い小売環境では、コンテンツ更新の遅れはプロモーション機会の損失、テナントキャンペーンの陳腐化、買い物体験の低下を意味します。迅速に対応し、正確に配信し、すべての画面でブランド一貫性を維持する能力は「あれば便利」ではなく競争上の必須条件です。

CAYINのリモートコンテンツ管理機能がこれに直接応えます。開業初日から、SM Supermallsのマーケティングチームは現地へ人員を派遣することなく、すべてのディスプレイへコンテンツをスケジュール・更新・プッシュできました。かつて現地での調整を要したキャンペーンも、数分で本番稼働できます。テナント広告は当日中に差し替え可能です。季節コンテンツは数週間先まで予約し、自動で有効化できます。オペレーションの観点では、マニラと三宝顔の「距離」はもはや存在しません。

広告を超えるスクリーン

SM City Zamboangaのデジタルサイネージネットワークは、商業パフォーマンス、テナント支援、来館者体験という3つの次元で測定可能な価値を提供します。商業面では、戦略的に配置された複数画面で複数の広告主キャンペーンを同時に運用できるため、モールの収益ポテンシャルを高めつつ、プレミアムな小売環境で信頼性の高い高視認性枠を広告主に提供します。

テナントにとってデジタルネットワークは、購買判断がなされるま

さにその場で、ターゲットを絞ったタイムリーなコンテンツで買い物客にリーチするチャンネルとなります。新商品発売、フラッシュプロモーション、シーズンオフアワーも、静的サイネージでは届かない即時性とインパクトで伝えられます。屋外LEDウォールはモール自体の外側へリーチを伸ばし、館内に入る前から周辺エリアの観客を惹きつけます。

展望エレベーターのLEDカーテンは広告を超えた次元を加えます。エレベーターシャフトの全高を没入型の自然映像、滝のようなカスケードアニメーション、地域に根ざしたビジュアルで満たすことで、日常的な動線を記憶に残るブランド体験へ変えます。来館者は立ち止まり、撮影し、共有します。実店舗体験がデジタルの利便性と競い合う時代において、このような瞬間は装飾ではなく戦略です。

スケールに応えるパートナーシップ

「Mediacast Digital GroupはSM City Zamboangaにおいて高水準のデジタルサイネージソリューションを提供してくれました。設置によりモール全体の体験が向上し、来館者とテナントへのコミュニケーションをよりモダンでダイナミックなものにできました。プロジェクトを通じてチームは迅速かつプロフェッショナルでした。」

2009年設立のMediacast Digital Groupは、商業・小売環境向けカスタムデジタルディスプレイソリューションのフィリピンを代表する専門企業の一つです。大型LEDウォール、インタラクティブキオスク、統合デジタルサイネージネットワークなど幅広い実績を持ち、あらゆる導入において技術的深みと小売業界の知見を提供します。

SM City Zamboangaの仕事は現時点で最大規模の設置であり、適切なハードウェア、適切なインテグレーター、適切なクライアントのビジョンが揃うときに何が可能かを示す実例です。

100か国以上で信頼。次の一手に備えて。

CAYIN Technologyは2004年以来、小売、ホスピタリティ、交通、ヘルスケア、企業環境におけるデジタルサイネージ展開の信頼できるパートナーです。100か国以上にハードウェアおよびソフトウェアソリューションを展開し、長期商用環境が求める信頼性と、現代のコンテンツ戦略が求める柔軟性を両立します。単一画面から数千台規模のネットワークまで、CAYINはすべてのディスプレイが日々一貫して機能することを確かめます。

